

島根県立美術館 ニュース

NEWS

vol. 093

2022年
6月1日、
再び開館

未来への架け橋へ

八雲立つ天空の彩り、風光の移ろいを刻々と映し出す宍道湖―この水都松江のシンボルをのぞむ好地に、1999年、島根県立美術館は開館しました。前身となる県立博物館の美術コレクションを継承し、加えて新たなコンセプトによる作品収集を継続しつつ、さまざまな展示会や教育普及事業の開催を通じ、「水と調和する美術館」を「夕日につつまれる美術館」として、二十数年にわたり県内外の皆様から親しまれてきました。

このたび大規模改修を経て新たなスタートを切るにあたり、あらためて当地における文化芸術の振興拠点の一つとして、地域の美術活動の顕彰と継承を主たる役割と位置づけ、収集保存・調査研究・展示・教育普及の美術館活動を通じて社会に貢献することを自らの使命と心得ます。

そして広く県民が美術に親しむ上質な機会を提供することはもちろんのこと、特に次代の主役となる島根の子どもたちにとって、芸術に触れる喜びやこの地に生きる誇りを育む場所となるよう、活動の充実を目指します。豊かな心に満ちた未来への架け橋となるべく、職員一同、いっそうの精進をもつて臨む所存です。

皆様のご来館を心よりお待ちしております。

島根県立美術館



新しくなった島根県立美術館 湖畔のひとときをいっそうの悦びに

このたびの改修工事ではロビー天井の耐震化に加え、開館以来、稼働し続けた電気・機械設備をはじめ建築・外構などが全般にわたり更新されました。これにより今後20年を見越して快適な環境で皆様をお迎えできるよう、また貴重な美術作品の保全ができるよう整えられました。さらに湖畔の美術館としてさらなる魅力の向上を目指し、いくつかの工夫も施しています。「水を画題とする絵画」を展示する「水辺の展示室」、北斎コレクションを展示する「北斎展示室」を新設。展示照明のLED化により快適な鑑賞空間が演出されます。また安野光雅『旅の絵本』を題材にした映像作品がキッズライブラリーに登場。「かぞくの時間」を大幅に拡充します。他にもARフォト「北斎ガチャ」や新レストラン「ラシヌ」など、幅広い層の皆様にとってさまざまな楽しみ方のできる新しい島根県立美術館にどうぞご期待ください。

(学芸課長 椋木賢治)

再開館記念セレモニー **参加無料** 日時 6月1日(水)9時40分～(9時20分開場)(約20分) 会場 エントランスロビー

新しくなった！ 島根県立美術館

1 | コレクションをたのしむ

→詳細は次頁をご覧ください。

2 | かぞくでたのしむ

毎日午前は新「かぞくの時間」

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前中「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

子どもといっしょの鑑賞優先時間

作品についてお子様とおはなししながら鑑賞いただけます。

日時 毎日10:00～12:00 ※休館日を除く

対象 0歳児からのお子様とその家族

会場 コレクション展示室・企画展示室
※閉室期間を除く

観覧無料

日時 毎日10:00～12:00 ※休館日を除く

対象 お子様とご来館の「こっころカード」
(または「こっころアプリ」)をご提示いただいた方。
(同伴4名まで)

観覧料 コレクション展無料
※高校生以下:コレクション展観覧は常時無料



新イメージキャラクター

「つくるたのしむ アートスタジオ」

毎月第3日曜日の「しまね家庭の日」にあわせ、造形ワークショップをスタートします。島根大学教育学部川路澄人教授による企画・監修のもとプログラムを構成する創作体験活動です。

6月19日(日)、7月17日(日)、8月21日(日)は「色水あそび」がテーマです。

参加方法等、詳細は島根県立美術館ホームページでご確認ください。

※「しまね家庭の日」は、家族の絆を強め青少年の健やかな育成を目指す運動です。

島根県内文化施設で「家族で来館された高校生以下の入館料等が無料」となります。ぜひ来館ください。



「色水あそび」※イメージ



安野光雅(1926-2020)
安野光雅美術館・提供



加藤久仁生(1977-)

オリジナルアニメーション 「見つける 旅の絵本 安野光雅」

島根県津和野町出身の画家・安野光雅の代表作「旅の絵本」シリーズのオリジナル短編アニメーションを常設上映します。監督は「つみきのいえ」(米国・アカデミー賞短編アニメーション賞受賞)などの作品で知られる加藤久仁生。絵本や木製のモチーフを手に取ると、関連するお話に切り替わるインタラクティブな機能も備えています。

3 | PC・スマホでたのしむ

ホームページリニューアル

4月よりホームページのデザインを一新。コレクション展の画像や解説の充実を図るとともに、わかりやすく最新の情報をご覧いただきやすい構成にリニューアルしました。また、スマホやタブレット端末からもご覧いただけるようになりました。



※イメージ

ARフォト「北斎ガチャ」

館内ロビーや展望テラスにて、お持ちのスマホやタブレット端末を使って、北斎作品のARフォトフレームの記念撮影ができます。ミニ解説付きで、楽しみながら当館の北斎コレクションに親しむことができます。



北斎作品と
一緒に写真が
撮れる！

※イメージ



「検索結果一覧」画面

収蔵品データベースの拡充

ホームページリニューアルにあわせて、収蔵品データベースも拡充します。公開項目が増えるとともに、デジタルギャラリーでは大きな画像をご覧いただけます。コレクション展ごとの主な展示作品の紹介にもご注目ください。





水辺の展示室

コレクション展も新しく

今般の改修工事にあわせ、2階にある5つのコレクション展示室にも整備が加えられました。ひとつはこのエリアに「水を画題とする絵画」をゆつたりと鑑賞いただけるよう「水辺の展示室」を新設。宍道湖畔に立地する当館ならではの特別な展示空間ができました。日本と西洋の画家たちによるさまざまな水の表現をお楽しみください。

また当館の誇る北斎コレクションを常時三十点程度、入れ替えながらご覧いただけるよう展示室2を「北斎展示室」としてリニューアル。こうした改修を中心に絵画・工芸・写真・彫刻等、さまざまな美術分野の作品をこれまで以上に魅力的に感じていただけるよう各室、工夫がなされています。照明器具もすべて最新のLED照明となり、作品本来の美しさが引き出せる展示環境が整いました。さらに充実したコレクション展にご期待ください。

(学芸課長 椋木賢治)

観覧料

一般 300円
大学生 200円
高校生以下 無料

○ミュージアムバスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額

島根県立美術館 北斎プロジェクト

〈美術館キネマ〉鑑賞無料

「HOKUSAI」

(2020年/日本/カラー/129分/Blu-ray上映)

絵で世界は変わるのか?
描き続けた生涯、
今明かされる、北斎のすべて。

2021年に劇場公開され、当館の所蔵作品がパンフレットにも掲載されました。
監督:橋本一
出演者:柳楽優弥 田中泯 阿部寛 他

日時 6月5日(日)

①10:30～②14:30～

(各回30分前開場/129分)

会場 美術館ホール(190席/当日先着順)



©2020 HOKUSAI MOVIE

〈再開館記念〉

要コレクション展観覧料

「北斎オリジナル
ペーパーバッグ」
プレゼント(非売品) 各日先着
100名様

再開館を記念して、期間中
コレクション展をご観覧の方、各日先
着100名様に「北斎オリジナルペ
ーパーバッグ」をプレゼントします。

期間 6月1日(水)、2日(木)、3日(金)
10:00～

場所 コレクション展受付



※いずれか1点をプレゼント

②のバッグは、使用後に
ペーパークラフトとして
お楽しみいただけます。

葛飾北斎《しんはん石橋山合戦組上ヶとうろふ》完成イメージ図

\ New /

展示室 1 水辺の展示室

第1期

6月1日[水] - 7月11日[月]

水を画題とする絵画の名品を展示します。近世絵画・日本画は7期、洋画は3期に分けてご覧頂きます。西洋絵画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。



クロード・モネ《アヴァルの門》1886年

第2期

7月13日[水] - 8月22日[月]



石橋和訓《美人読詩》1906(明治39)年

展示室 1 西洋絵画 洋画

第1期

6月1日[水] - 10月3日[月]

「水」をテーマにした絵画以外にも当館では東西の油彩画を所蔵しています。日本の洋画家たちに影響を与えたラファエル・コランから、明治期に渡英し西洋の肖像画技法を身につけた本県出身の石橋和訓など、当館選りすぐりの逸品を紹介します。



曾我二直菴《梅鷹図》(左隻)江戸時代初期

展示室 1 近世絵画 日本画

第1期

6月1日[水] - 7月11日[月]

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介いたします。

第2期

7月13日[水] - 8月22日[月]

\ New /

展示室 2 北斎

第1期

6月1日[水] - 6月27日[月]

コレクション展示室2(「北斎展示室」)では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約30点をいつでもご覧いただけます。

第2期

6月29日[水] - 7月25日[月]

第3期

7月27日[水] - 8月22日[月]



葛飾北斎《赤壁の曹操図》1847(弘化4)年

展示室 3 工芸

出雲の茶道文化

6月1日[水] - 7月18日[月・祝]

松江藩七代藩主松平治郷(不昧)は茶道を通して諸工芸を振興しました。本展では不昧にまつわる茶道具や絵画、書跡等の優品により出雲の茶道文化の一端を紹介します。



永原雲永《布志名焼 色絵秋草園茶碗》江戸時代末期

華麗なる装飾

出雲地方の輸出陶器

7月20日[水] - 10月17日[月]

展示室 4 写真

ベルナル・フォコン

6月1日[水] - 8月28日[日]

ヴァカンスに湧く少年時代の記憶の煌めきを永遠に結晶化した作品群 - 代表作《夏休み》を中心に、約40点の作品でフォコンの世界を紹介します。



ベルナル・フォコン《彗星(夏休み)より》1979年

展示室 5 彫刻・小企画

木を素材とした彫刻

6月1日[水] - 7月18日[月・祝]



澄川喜一《そのあるかたち97-1》1997(平成9)年

一木から彫り出される作品は、もとの木が持つ味わいがよくあらわれ、部材を組み合わせる作品は、自在な構成が可能となります。当館収集方針のひとつ「木を素材とした彫刻」から優品をご紹介します。

しまびコレクション×夏の自由研究 なにて描こう なにに描こう

7月21日[木] - 8月29日[月]



企画展

チームラボ

学ぶ！未来の遊園地と、
花と共に生きる動物たち

ジャンルを超えた世界的アーティスト集団 島根県初登場！

チームラボは、デジタル社会の様々な分野のスペシャリストから構成されているウルトラテクノロジスト集団です。アート、サイエンス、テクノロジー、デザインの境界を越えて、その活動を広げ続けています。

本展では、アート作品《花と共に生きる動物たちⅡ》と、共同的な創造性「共創」をコンセプトにした教育的なプロジェクト《チームラボ学ぶ！未来の遊園地》の作品を展示します。このプロジェクトは、国内・海外累計来場者数1000万人を達成し、子どもから大人まで楽しめる展覧会です。世界的に活躍するチームラボによる島根県初登場となる作品の数々をお楽しみ下さい。

2022年
7月1日(金)→8月28日(日)

開館時間
10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)
※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

オープニングセレモニー ご招待

参加無料 要事前申込

抽選で30名様を「チームラボ」展オープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテープカットにご参加いただけます。

日時 7月1日(金)
9時40分～(受付9時15分～)

会場 1階ロビー

特典 「チームラボ図録 2001-2016」

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前(ふりがな)②住所③電話番号 以上必須事項④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな)1名まで可

申込先

〔郵送〕〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「チームラボ」展オープニング
セレモニー係

〔FAX〕0852-55-4714

申込締切 6月15日(水)当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。○お客様の個人情報は、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。○当選者の発表は招待状の発送(6月20日頃)をもってさせていただきます。

企画展予告

祈りの仏像 出雲の地より

会期 9月16日(金)～10月24日(月) 休館日 火曜日

古代以来、地域性豊かな歴史文化を育んだ出雲。その出雲において仏教文化の精華・仏像はいかなる展開を見せたのでしょうか。古代から中世に至る出雲国600年の仏像史をたどり、地域固有の歴史の流れと人々の祈りの心に触れる展覧会。



《不動明王坐像》平安時代 島根千手院蔵

花と共に生きる動物たちⅡ

Gallery

ギャラリー展示のご案内

会期	展覧会名	内容	問合せ先
6月3日(金) - 6月6日(月)	〜布のつながり〜パッチワークキルトフレンド展	パッチワークキルト作品(タペストリー、バッグ、つりびな等)の展示。	柳澤 090-1188-4910
6月9日(木) - 6月12日(日)	第138回 島根書道展	書作品(漢字、かな、近代詩文書、大字書、前衛書、篆刻)を展示。	油谷 090-7542-9108
6月17日(金) - 6月20日(月)	第37回 島根書道協会展	県内全域から幅広く募集し出品された作品と、協会構成員の作品を併せて展示。	植田 0852-26-6498
6月26日(日) - 7月3日(日)	第130回 島根洋画展	島根洋画会の会員・準会員と県内から公募した一般出品者の洋画の展示。	森山 090-5375-2608
7月6日(水) - 7月10日(日)	第25回 島根日本画協会展	島根日本画協会に所属する会員による日本画の作品展。	広田 090-1188-5753
7月6日(水) - 7月11日(月)	アトリエラ プラージュ ニューヨークシャドーボックス展	立体造形、絵画作品の展示。	泉 090-5373-1285
7月13日(水) - 7月18日(月)	第61回 島根新協展	島根新協美術会会員による油彩、アクリル、水彩画作品展。	野津 0852-22-0569
7月13日(水) - 7月18日(月)	第5回 丹青会日本画展	丹青会会員による日展、日春展の入選作品を含む日本画展。	福岡 0853-72-8026
7月20日(水) - 7月25日(日)	SHOKO POP HANGA 2022	国展入賞、入選作を含む、新作等約30点の木版画展。	足立 090-4894-5719
7月20日(水) - 7月25日(日)	@gallery絵画教室作品展 2022	@gallery絵画教室の作品展(木版画、日本画、デザイン画、立体他)。	足立 090-4895-7152
7月27日(水) - 8月1日(月)	来て、見て、さわって、感じて! 楳栗治とそのコレクション展(二紀会 山陰支部展 併催)	自作の絵画と所蔵するコレクション展示。二紀会 山陰支部展 併催。	楳 090-2006-6633
8月3日(水) - 8月8日(月)	第25回記念 書友墨斎会書展	書道作品(漢字、かな、近代詩等)軸装、額装の展示。	目黒 090-5705-6540
8月10日(水) - 8月15日(月)	山陰現展・山陽現展 合同展	山陰現展・山陽現展の会員による絵画・デザイン・写真・立体造形の作品展示。	松本 090-9504-8157
8月12日(金) - 8月15日(月)	第15回 しまね写真展	島根県を中心とする写真愛好家のための写真公募展。	川上 090-2801-5253
8月17日(水) - 8月21日(日)	第58回 八洪会書展	八洪会会員による書道作品の展示。	赤木 0852-20-7033
8月17日(水) - 8月22日(月)	Happyという展 ～神在月に集う出雲の神々～	出雲人画家Happyというの日本神話をテーマにした作品展示。	細田 070-1075-4720
8月25日(水) - 8月29日(日)	第50回 日本の書展	全国書壇の新作に地元書家の作品も併設展示。	山陰中央新報社事業部 0852-32-3415
9月1日(水) - 9月5日(日)	第50回 松江市民美術展	市民または市内通勤・通学者及び市内の文化教室受講者を対象とする松江市主催の公募展。	松江市文化振興課 0852-55-5517
9月7日(水) - 9月12日(月)	客観的遺伝子のフェートギャラント	現代美術、アクリル画、インスタレーション	ANATANIWA AIGAARUKARA 070-2366-8784
9月7日(水) - 9月12日(月)	第8回 創造空間	県写連会員の写真展。各会員にスペースを割り当て、自由な発想でテーマやレイアウトを決め展示する。	川上 090-2801-5253
9月7日(水) - 9月12日(月)	令和5年度 愛鳥週間用ポスター図案コンクール作品展	小・中・高等学校及び特別支援学校の生徒が描いた野鳥の作品展。	島根県鳥獣対策室 0852-22-5335
9月14日(水) - 9月19日(月)	第5回 洋画姉妹展(卒寿記念)山崎一枝・田邊二枝	山崎一枝・田邊二枝姉妹による洋画作品の展示。	田邊 090-5695-5701
9月22日(水) - 9月26日(日)	第50回記念 山陰独立書展	50回記念展の為、超大作5点程度と会員の新作80点を展示(書作品、かな、現代文等)。	河瀬 090-8240-6952

○開室時間は通常10:00～18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



6月1日オープン!

湖畔のレストラン「RACINE」

宍道湖をのぞむ風光明媚な環境の中、宍道湖や日本海の魚介類、旬の地元野菜を使ったカジュアルフレンチをお届けします。美術館で豊かになったお客様の心を更に満たしていただけるようなレストランを目指し、スタッフ一同、取り組んでまいります。おひとり様から家族連れまでゆったりとした時間をお過ごしください。

- 営業時間・定休日 美術館開館時間に準じます。
- レストラン電話 0852-25-6562(6月1日から)
- ランチメニュー [11:00～15:30(L.O.15:00)]

RACINEプレート …………… 1,800円
(スープ・プレート・パン又はご飯・コーヒー又は紅茶)

季節のレストランカレー …… 1,200円

島根和牛のビーフシチュー … 2,800円
(スープ・サラダ・メイン・パン又はご飯・コーヒー又は紅茶)



Museum Shop ミュージアムショップ

オンラインショップで先行販売していた「北齋コレクション オリジナルグッズ」が、美術館再開に際してミュージアムショップ店頭でもいよいよ発売開始となります。50種類のオリジナルポストカード(各110円[税込])のほか、カラフルな12種のマスキングテープ(各385円[税込])も全てコレクションしたくなる可愛さです。

美術館再開後もミュージアムショップでは「島根県立美術館での思い出を持ち帰ることができる場所」として、オリジナルグッズや他のお店にはないアートを感じることができる商品のラインナップを充実させていく予定です。今後ともぜひご期待ください。



オンラインショップ
<https://www.sam-museumshop.shop/>

オリジナルチケットホルダー【宍道湖うさぎ】550円[税込]

「北齋コレクションオリジナルグッズ」
店頭でもいよいよ発売開始



山本建築課長の美術館改修工事通信〔後編〕

山本大輔 | 島根県東部県民センター 建築課長、美術館改修工事 総括監督員



膜天井のゆるやかなカーブが、宍道湖大橋のアーチと呼应する



足場の解体を待つばかりの新しい天井

新しいロビー天井が完成しました

昨年5月から約1年間かけて進めてきた県立美術館のエントランスロビー天井の耐震化工事が無事に完了しました。

今回の工事では、設計者の菊竹清訓氏が思い描いた“宍道湖の渚”のイメージを受け継ぎ、渚に打ち寄せる波のような曲面天井のかたちはそのままに、軽くてしなやかな膜構造に置き換えることで新しい耐震安全基準をクリアしています。

熟練の職人さんたちの手作業で1つ1つ丁寧に張り上げられた巨大な膜天井には緊張感がみなぎり、優美な曲面を描く姿には“白磁”を想わせる工芸的な美しさを感じられるでしょう。

宍道湖に面したロビーのガラス面から差し込む自然光は、大理石の床に反射して白い膜天井を照らし、膜天井が“巨大なレフ板”となって自然光を2階へと拡散させていきます。また、吸音性の高い膜材を採用したことにより、以前よりもロビー内での会話や足音の反響が抑えられ、美術館に求められる静寂性も向上しました。

そんな新しい天井が作り出す“安心感”と“空気感”によって、皆さんが美術館で過ごされる時間が少しでも豊かなものになればと密かに期待しているところです。

工事に関わった皆さんの技術と熱意

今回の工事では大変多くの工事関係者の方々にご尽力いただきました。

工事現場は一人一人の人間が動かしています。地域の建築に対して熱意を持って取り組む姿勢が、実際にどのようなメンバーを集めて体制をつくるかということにつながっていきます。大規模かつ複雑な曲面天井を膜構造で造るという前例のない工事を成し遂げることができたのは、県内外から集まった専門技術者、職人の皆さんの高度な技術力に加えて、元請会社として彼らの技術力をまとめ上げ、気持ち良く働ける現場環境づくりに尽力された地元ゼネコンの皆さんの熱意と気配りがあったからこそと強く感じています。

多くの皆さんが熱意を持って協力して下さるこの地域で今回の大規模改修が成し遂げられた喜びと、工事に関係された全ての皆さんへの感謝をこの場を借りて申し上げます。



工事にご尽力いただいた皆さんと美術館スタッフ。他にも数多くの方々にご協力いただきました。

美術館建築ツアー 参加無料

講師 山本大輔(島根県東部県民センター)

日時 6月1日(水)10:30～、6月12日(日)14:00～(各回1時間程度)

会場 美術館内外 湖岸周辺

定員 15名(当日先着順)

当通信を寄稿いただいた美術館改修工事総括監督員の山本大輔氏による美術館建築について解説するツアーです。改修工事のポイントもわかりやすくご説明します。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。



島根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、samenews@pref.shimane.lg.jpまでメールをお送りください。



島根県立美術館



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>